

## 有識者意見の概要及び意見に対する対応

1. 調査研究課題名「地方都市における地域公共交通の維持・活性化に関する調査研究」	
2. 有識者意見の概要及び対応 有識者：谷口 守氏 筑波大学大学院システム情報系社会工学域・教授 中村 文彦氏 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院・教授 鈴木 文彦氏 交通ジャーナリスト	
意見の概要	意見に対する対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスの地域バスサービスは規制緩和が行われており、日本の公共交通の制度と似ているため、参考になる部分が多いと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イギリスの調査においては、特に地域バスサービスのあり方に着目して調査を実施した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>赤字補填ではなく、経営努力等をした点について支援する仕組みが必要である。行政は、どの点で事業者に努力をさせるかを明確に示すべきである。海外調査において、この観点の調査を実施すれば良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外調査においては、補助金に関する制度に着目して調査を実施した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカのデンバーにおいて近年自動車一辺倒から公共交通志向型のまちづくりが行われており、調査の対象都市として良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アメリカにおける地方都市の事例として、デンバーの調査を実施した。</li> </ul>